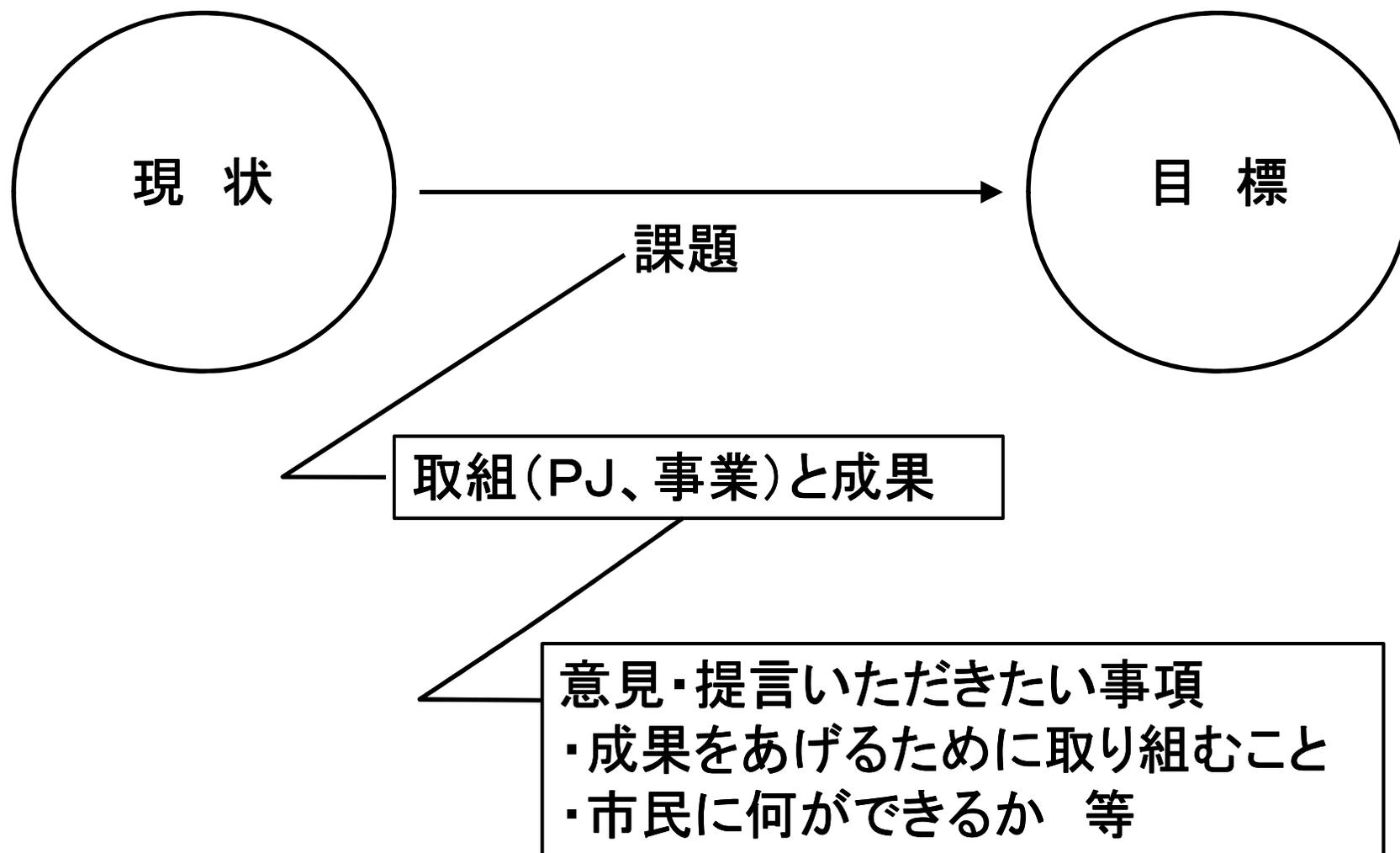


本日の各テーマの情報提供について



テーマ 「国際リニアコライダー誘致促進とまちづくり」

【現状】

国際リニアコライダー(ILC)とは？

International: インターナショナル(国際的な)

Linear: リニア(直線の)

Collider: コライダー(衝突型加速器)

国際的な直線の衝突型加速器で、頭文字をとって「ILC」と呼んでいる

テーマ 「国際リニアコライダー誘致促進とまちづくり」

国際リニアコライダー(ILC)は

- ・世界に一つだけつくろうという国際プロジェクト
- ・電子と陽電子を光速に近い速度まで加速させ、正面衝突させることで、宇宙誕生直後に起きたビッグバンを人為的に再現させることにより、宇宙創成の謎、時間と空間の謎、質量の謎など、様々な科学の謎に迫る実験装置。
- ・現在は、地下約100mに、総延長20kmでの建設を検討しており、段階的に延長することを想定。

テーマ 「国際リニアコライダー誘致促進とまちづくり」

【ILCでわかること】

- ・現在、宇宙を構成しているもののうち、解明されているのは、全体の4%。
- ・残り96%のうち、22%は光では見えない「暗黒物質(ダークマター)」、「74%は宇宙を加速度的に膨張させる「暗黒エネルギー(ダークエネルギー)」と考えられている。
- ・ILCはその正体を探る研究。

テーマ 「国際リニアコライダー誘致促進とまちづくり」

【ILCはどこにできる？】

- ・世界においては、日本が最有力建設候補地とされており、日本への誘致が決定した場合には、北上山地に建設することとされている。
- ・ILCの実験で衝突させる電子と陽電子は、目に見えない非常に小さな粒子のため、正確に衝突させるためには、振動が少ない固い「花崗岩」の岩盤が長く延びている北上山地が、ILCの建設地として最適

テーマ 「国際リニアコライダー誘致促進とまちづくり」

【ILCはいつできる？】

- ・平成30年中に国が誘致に関する是非の判断を
すると見込まれている。
- ・ILC誘致が決定した後、建設・調整等に約10年
間を要し、2020年代後半～2030年代前半での稼
動開始が想定されている。

テーマ 「国際リニアコライダー誘致促進とまちづくり」

【ILCの波及効果】

- ・施設・設備などの建築資材や研究機器の搬入に伴う大船渡港の活用
- ・研究者やその家族の当市への来訪、移住などによる交流人口の増加
- ・通勤可能な距離であるので、研究施設や関連施設での雇用
- ・多文化が共生する国際都市圏が形成され、多様な文化に触れることができるなど、教育・文化分野における効果

テーマ 「国際リニアコライダー誘致促進とまちづくり」

【目標】

- ・国際リニアコライダーの誘致促進
- ・国際化に対応したまちづくり

【課題】

- ・ILC誘致促進、機運醸成
大船渡港利活用、市民の意識醸成 など
- ・国際化に対応したまちづくり
国際交流、インバウンド など

テーマ 「国際リニアコライダー誘致促進とまちづくり」

【取組】

- ILC推進室の設置
- ILC講演会の実施(市、商工会議所 等)
- ILC出前授業の実施
- ILC誘致に向けた要望活動
- ILC建設時の港湾利用を想定した活動
- ILC誘致促進看板の設置
- 多言語表示(市ホームページ)

テーマ 「国際リニアコライダー誘致促進とまちづくり」

【さらに意見・提言等をいただきたいこと】

○ILC誘致の機運醸成に向けた取組

○国際化に対応したまちづくりに向けて
企業、市民が出来ることは？

(コミュニケーション能力の向上、
多言語による情報提供の充実、
多文化理解推進のための交流活動 など)